

特色ある松江市内中世城館

山城の縄張り調査からみえるもの

平成29年9月16日
松江市総合文化センター
山根 正明

はじめに ねらいと願い

1. 山城(中世城館)とは

- ・山城の発達
- ・山城の築造

2. 縄張り と 縄張り図

- ・山城の普請技法と部位の機能

- ・縄張り調査とその特徴

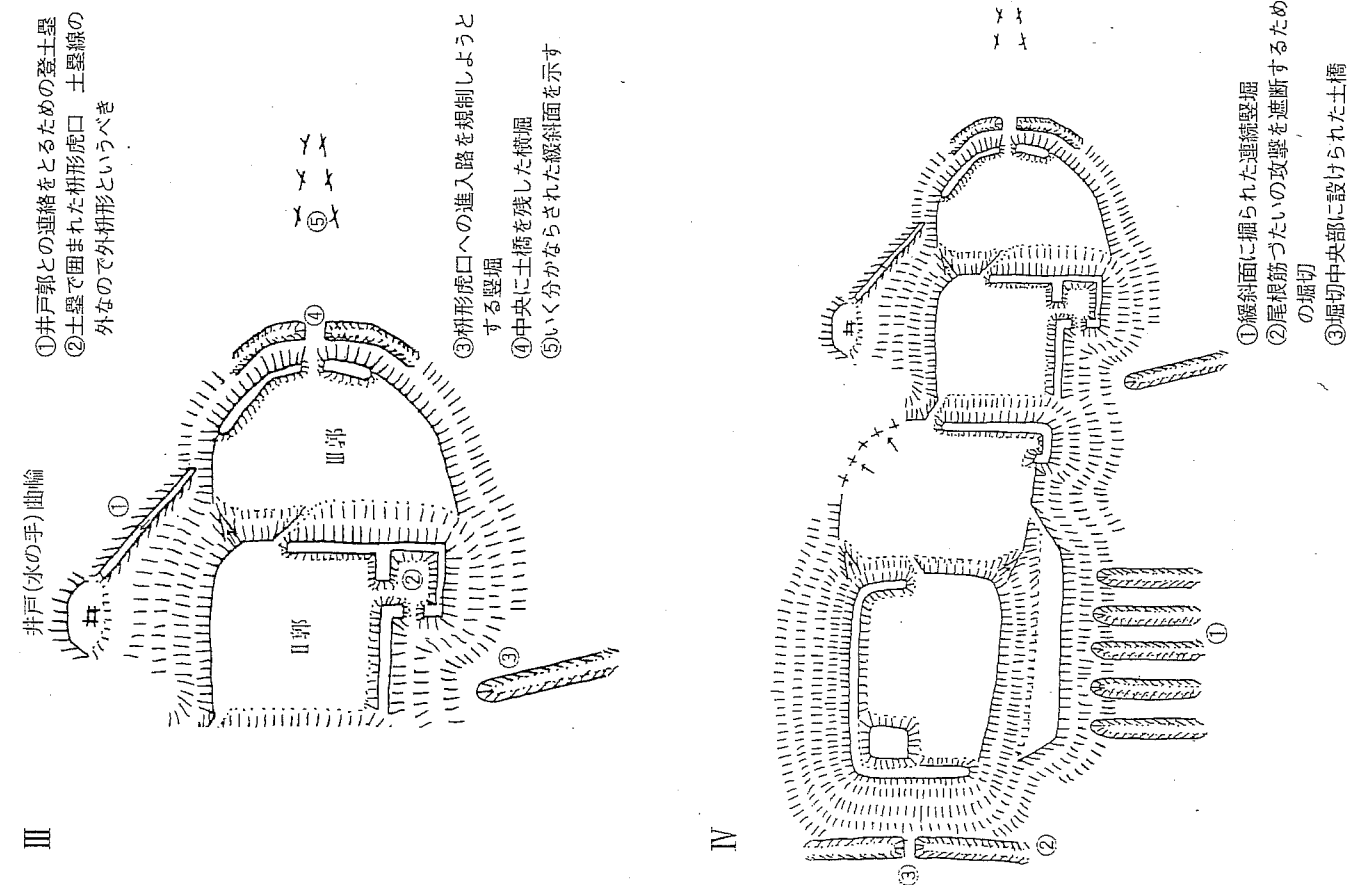
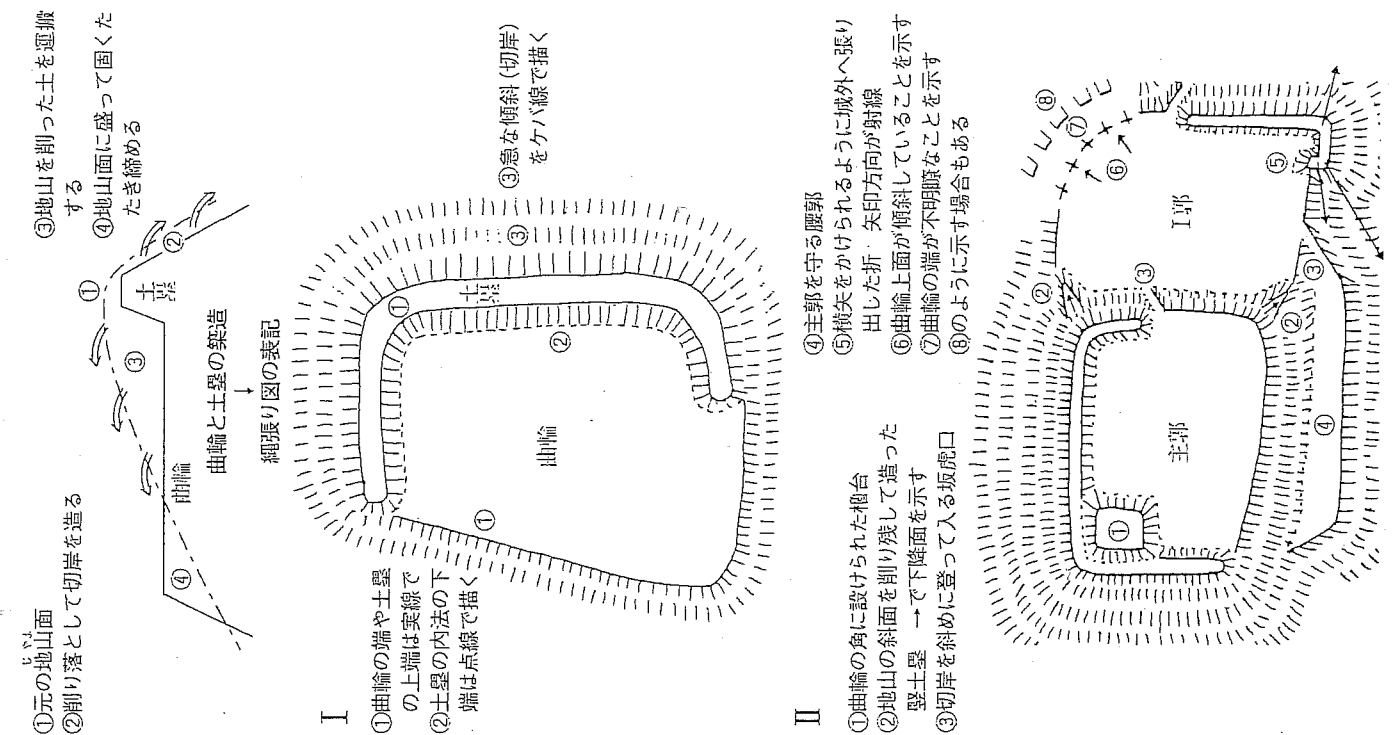
3. 戦国争乱と山城(陣城)

- ・出雲国の戦国争乱
- ・戦略構想に対応する築城と改修
- ・戦況に即応した築城と改修

むすびに代えて 縄張り調査のすすめ

縄張り図の見方

ていねいに遺構面を観察して曲輪や堀切などの配置を読み取り図化したものを縄張り図という。その表現技法に厳密な規定はないが、縄張りの特徴や遺構の残り具合が理解できるように描くよう努めている。(山根正明)



III

IV

城館関連用語の解説

中世城館に關係する用語は多岐にわたるが、ここでは基本的な用語について解説しておく。(山根正明)

本城 戦国大名や国人の領域支配の中核となる拠点の城。根城とも。「雷田城等」

詰城 本城の背後を守るとともに本城を支えきれなくなつた時に最後の拠点となる城。また土塁層の居館の背後に設けられた山城をいう。「白鹿山城、碧群大高丸等」

支城 本城を中心として領内の要地に設けられた城。枝城・端城とも。服属した国人等の本城が支城となる場合もある。敵の領域との境に設けられた支城は境目の城。「佐々布衣雲山城等」

陣城 戦場で造られた臨時の城。城攻めにあつて攻囲軍が足がかりとして築いた城は向城(付城・対城)とも。「勝山城等」

繋ぎの城 本城と支城の間、陣城と陣城の間などの連絡を果すために造られた城。伝えの城とも。「御定寺城等」

海城 所屬する船舶の管理や海上の監視・制海権の確保等

役割に即して呼ぶこともある。

腰郭 主郭直下の曲輪、あるいは山上の曲輪に対して山腹に取りついた形の曲輪をさす。尾根上の曲輪の、側面山腹に取りついて設けられた細長い曲輪は帯郭という。

堀切 尾根伝いの攻撃を遮断するために屋根筋に直角に掘り込んだ空堀をいう。複数の場合は、連続堀切・二重(三重)堀切などと呼ぶ。堀切の中央部に削り残して造られた通路は土橋という。

縦堀 傾斜地での敵兵の横の移動を封ずるために、等高線に対して垂直に山腹に掘られた堀をいう。斜面に連続して掘られている場合は、連続縦堀・畝状空堀群などという。

横堀 等高線に平行に山腹に掘られた堀をいう。

障子堀 山城の堀はほとんどがV字形に彫り込まれた堦堀であるが、堀の底に障子の棧のように畦を残した堀をいう。

土塁 土を突き固めたり削り残したりして築かれた土手のこと。土居とも。多くの場合、曲輪の端に築いて防御性を高めようとする。等高線に対して直角に築かれた場合は、縦土塁、長大なものは登土塁と呼ぶ。

石積み 虎口の周辺や切岸の一部に補強の土留めとして築かれたもの。裏込めが施され、隅がきちんと整形されて

を目的として築かれた城。水軍城・海賊城とも。「満願寺城等」

地取り 城地を選定すること。城館に求められる機能に応じて適地が選ばれる。

縄張り 曲輪や堀切などの配置を中心とした城館の平面構造のこと。またその配置設計をいう。

普請 縄張りにしたがって曲輪や堀切などの土木工事を行うこと。城造とも。

作事 櫓などの建物を建てる建築工事をいう。城館は地取り・縄張り・普請・作事をへて完成されるが、中世の山城にあつては作事は簡素なもので、普請の段階でほぼ終了とみてよい。

破城 城の全部あるいは一部を破壊して使えなくすること。元和の一国一城令(一六一五年)によつて多くの城が破壊された。城割とも。

曲輪 周囲から侵入しにくいように法面を急傾斜に加工して造られた平場のこと。山頂を削平したり、傾斜面を削った土を低い面に盛り上げたりして造られる。その法面を切岸あるいは壁という。中世城館では中心となる曲輪を主郭と呼び、本丸とは呼ばない。郭とも書く。本書では便宜的に「北土郭」などとしている。水源を守るための井戸郭(水の手郭とも)などのように、果たすべき

いるものが石垣。中世の城館は基本的に土造りで、石垣は近世城郭の特徴である。見せる石垣。

櫓台 遠方を監視したり、戦況に応じて城兵に指示を出す戦闘指揮所。主郭の中に一段高くして設けられることが多い。

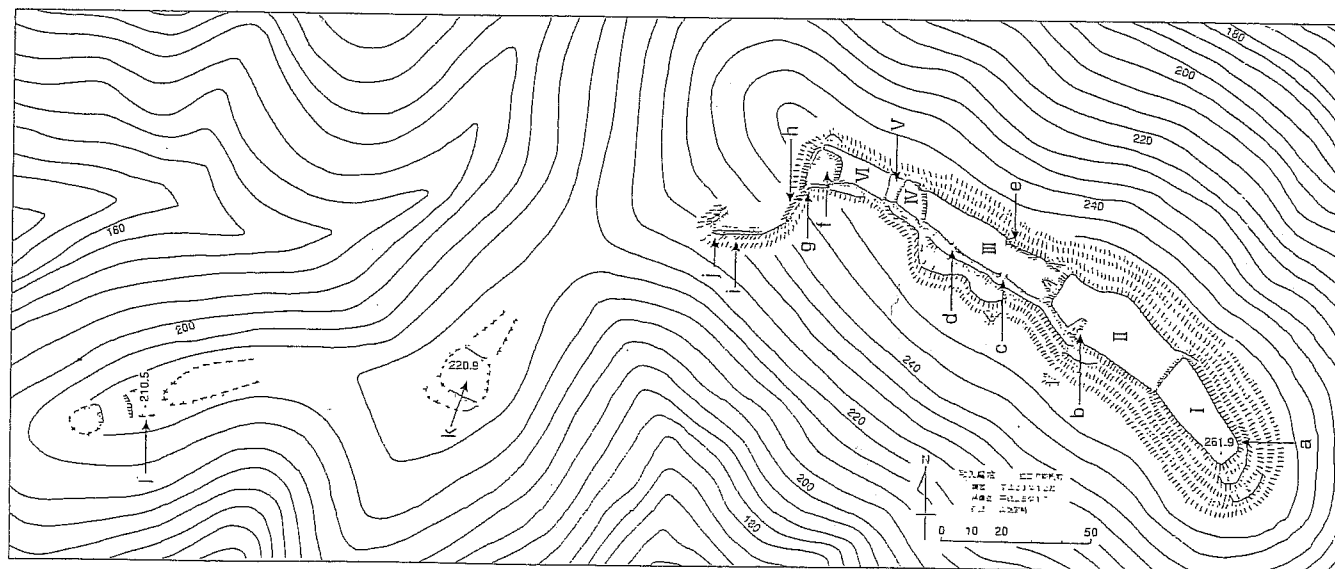
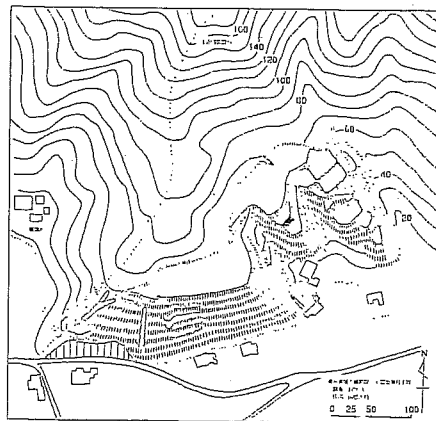
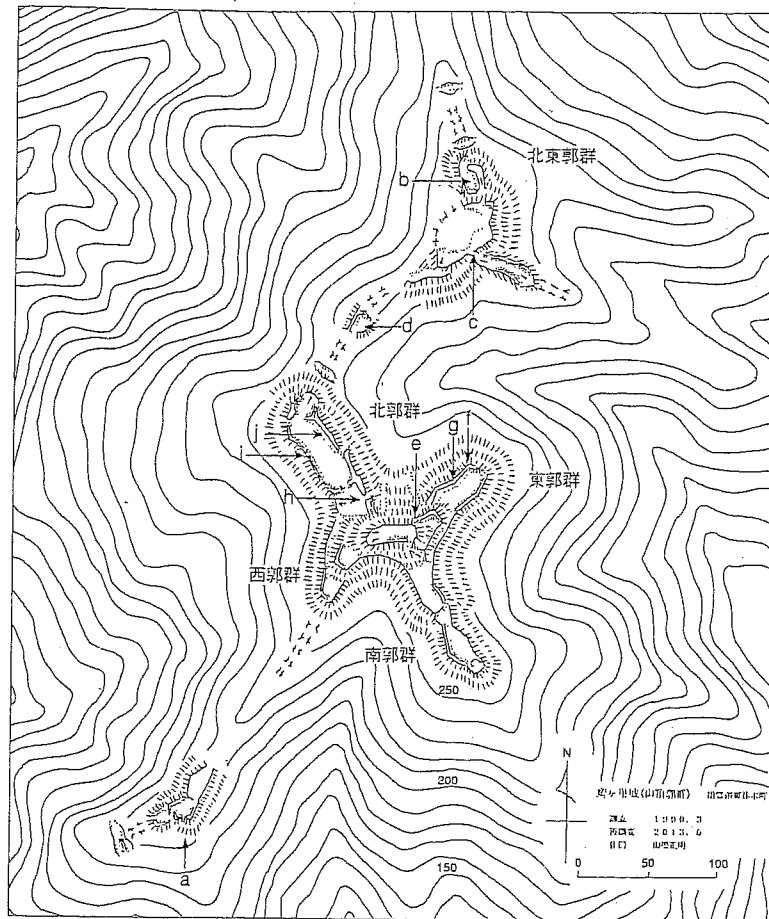
横矢 虎口や土塁に近づいた敵兵を横から弓や鉄砲で射撃すること。また、そのために曲輪や土塁を城外側に張り出した場合は折、城内側に屈曲させた場合は邪という。

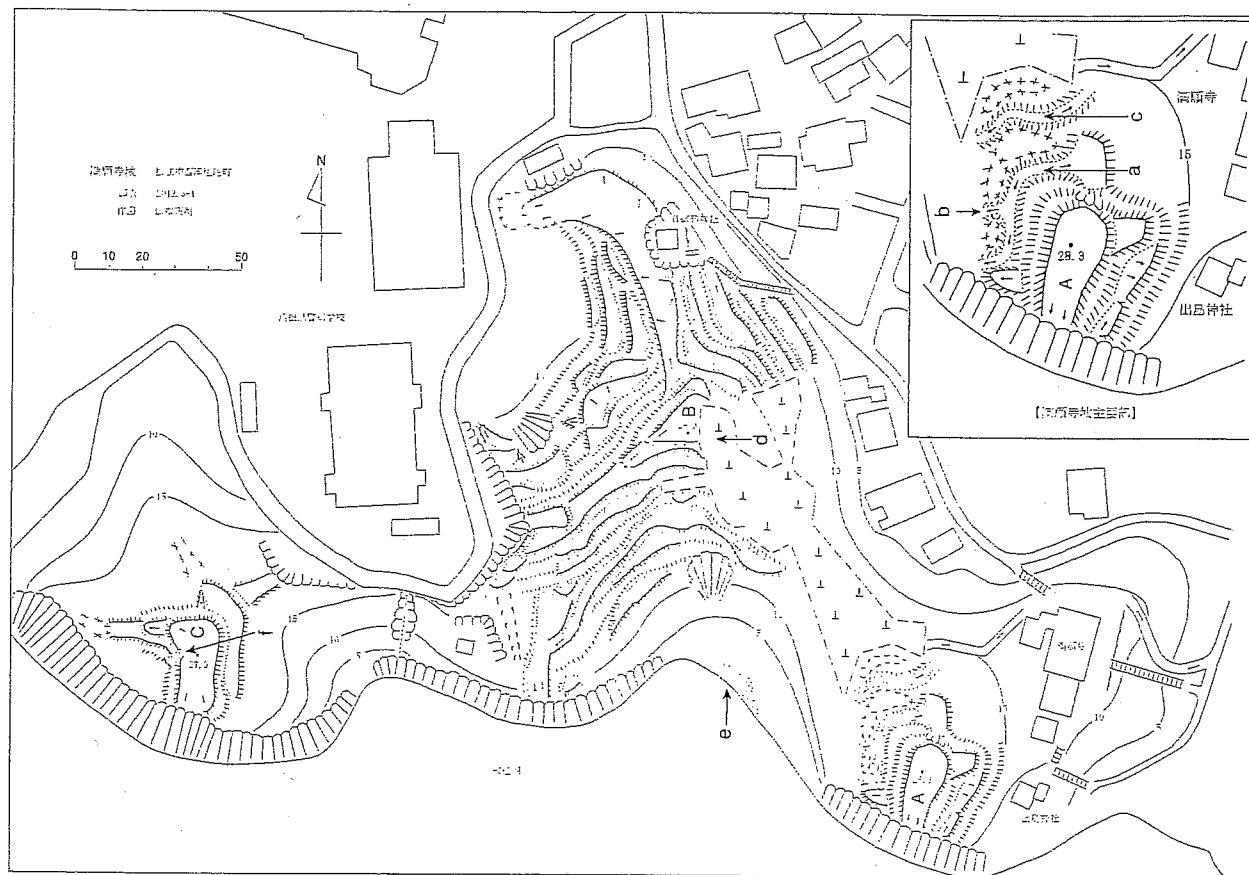
虎口 城の出入り口あるいは各曲輪の出入り口をいう。小口とも書く。登り坂で入らせる坂虎口、斜面を斜めに入らせることによって土塁を食進いにした食進い虎口などがある。

桁形虎口 柵や土塁で方形に囲んだり方形に掘りくぼめたりして、その桁形の中を屈曲して城門に入らせるように造られた虎口。畝線の外に設けた外桁形、内側の内桁形がある。

仕寄 城攻めのこと。特に虎口や曲輪に接近して行われる攻城側の行動をいう。

後詰め 包圍されている味方の城を救援するための軍事行動。後巻とも。





メモ用紙

